

[研究名]

高度脊椎変形例における DXA 自動解析の限界と Point Edit 再設定による T-score の乖離検討

～脊椎変形に伴う Auto Bone Mapping の誤認識が骨粗鬆症診断に与えるリスク～

[研究責任者]

香川県立中央病院 放射線部 副技師長 三木正行

[研究の対象・方法]

2026年1月5日～2026年2月13日までに放射線部にて「骨密度測定」をした患者さんについて、自動解析と手動修正の乖離を明らかにし、それが診断カテゴリに与える影響を調査します。

治療成績等を検討することは、今後の治療向上に寄与します。

なお、患者さんの個人情報が増えることはありませんが、研究そのもののデータとして使用を拒否される場合は、下記までご連絡ください。

[問い合わせ先]

〒760-8557 高松市朝日町1-2-1

香川県立中央病院

電話 087-811-3333 (代表)